

令和2年3月19日

## 文化審議会の答申（登録有形文化財（建造物）の登録）について

文化審議会（会長 佐藤 信）は、令和2年3月19日（木）に開催された同審議会文化財分科会の審議・議決を経て、新たに133件の建造物を登録するよう文部科学大臣に答申しました。

この結果、官報告示を経て、登録有形文化財（建造物）は、12,692件となる予定です。

### 1. 今回答申された登録有形文化財（建造物）の概要

	新規登録	累 計
登 録 数	133件 25都道府県42市町村(区)	12,692件 47都道府県970市町村(区)

### ○時 代 別 (件)

	江戸以前	明 治	大 正	昭 和	計
新規登録	10	30	23	70	133
累 計	2,258	4,030	2,586	3,818	12,692

### ○種 別 (件)

	産 業			交通	官公 庁舎	学校	生活 関連	文化 福祉	住宅	宗教	治山 治水	他	計
	1次	2次	3次										
新規	0	24	21	0	2	1	0	21	44	20	0	0	133
累計	118	1,311	1,589	505	226	385	336	407	5,685	1,839	208	83	12,692

### (件)

	建 築 物	土木構造物	その他の工作物	計
新規登録	112	0	21	133
累 計	10,031	643	2,018	12,692

## 2. 今回の答申における主なもの

### ① 独創的な意匠が際立つ座敷蔵

旧吉田家住宅紫雲閣ほか1件 みはるまち 福島県田村郡三春町

三春町旧城下町の階段状敷地に建つ生糸商の住宅。紫雲閣は主屋北西上段に建つ2階建ての座敷蔵で、明治中頃に建設された。入母屋屋根の土蔵造りで、ベランダ風意匠の下屋を正面に設ける。内部は趣向を凝らした設えで、特に2階座敷は、軸部を赤色系の磯草模様仕上げ、床柱と落掛に龍の彫刻を巻くなど、豪華につくる。中国趣味を色濃く取り入れ、多彩な工芸技術を駆使した意匠奇抜で類稀な建物。



### ② 戦前の民芸運動の流行も垣間見える高貴なつくりの邸宅

旧尾張徳川家本邸主屋（八ヶ岳高原ヒュッテ） みなみ さくぐんみなみまきむら 長野県南佐久郡南牧村

尾張徳川家第19代当主義親が昭和9年に東京の目白に建てた本邸を、昭和43年に八ヶ岳へ移築したもの。ハーフティンバーを基調とし、大小の切妻屋根を組み合わせて変化を付けた外観を見せる。端正な意匠でまとめつつ、内外の木部を手斧で仕上げた温もりあるつくり。階段の手すり親柱上部などを飾る手彫りの熊の彫刻も印象的。戦前を代表する建築家・渡辺仁による邸宅建築の好例。



提供：竹中工務店

### ③ 雄大さと繊細さを兼ね備えた荘厳な美術館

京都市美術館本館 きょうと 京都府京都市

平安神宮へ至る神宮道に面して建つ、昭和天皇即位に伴う奉祝記念事業で昭和8年に建設された美術館。設計図案を公募し、和洋の様式を巧みに織り交ぜた意匠が評価された建築家・前田健二郎の原案を基に、京都市土木局営繕課が設計した。鉄筋コンクリート造一部鉄骨造、地上2階地下1階建てで、四面中央に車寄せ付きの入り口を設ける。堂々たるつくりで、洗練された細部意匠も秀逸。



④ 圧倒的な表現力を持つ大阪万博のシンボル  
太陽の塔 大阪府吹田市

昭和45年に開催された万国博覧会のために建てられた。岡本太郎の斬新な造形表現を、鉄筋コンクリート造や鉄骨造などを混用し、様々な建設技術を駆使して実現した。内部は展示空間そのものでありながら、階段を設けて地下展示と空中展示を結ぶ動線の役割も担った。大阪万博を象徴する存在感あるデザインで、現在も多くの人に親しまれる。



提供：大阪府

⑤ 巨匠・丹下健三によるモダニズム庁舎建築の好例  
旧倉敷市庁舎（倉敷市立美術館） 岡山県倉敷市

昭和35年に建設された、鉄筋コンクリート造、地上3階地下1階建ての元庁舎。コンクリート打ち放しの柱や梁を平滑に見せる外観で、2階を太い柱と約20mの長大なプレストレスコンクリートの横架材で支える。南面には、先端を湾曲させた庇を付けて変化を付ける。長方形平面で、1、2階中心部に吹き抜けの大空間を設け、壁面を幾何学的な意匠で飾る。直線的な構成が、合理的なモダニズム建築の理念をよく示す。



⑥ 江戸時代の宇島の繁栄を物語る三層の鐘楼  
教圓寺鐘楼 福岡県豊前市

周防灘に面する宇島に所在する浄土真宗本願寺派寺院の鐘楼で、文久3年(1863)に建設された。旧中津街道沿いの境内南西隅に建つ、正面三間、側面二間、木造3階建て袴腰付きで、宝形造り棧瓦葺きの屋根とし、入り口には唐破風屋根を付ける。内部には大小の梵鐘を吊る。鐘楼としては珍しい三層の構成で、かつては物見櫓としても利用したと伝わる。地域のランドマークとして親しまれている。



〈担当〉	文化庁文化財第二課	電話：03-5253-4111（代表）
	課長 岡本 任弘	
	課長補佐 田井 祐子	
	登録部門 江島 祐輔, 福田 剛史, 坂本 萌（内線 2797）	
	審議会係 小島 学, 森 弓乃（内線 3160）	